

ちゅうおうこうぞうせん たにろとう  
中央構造線ハノラ谷露頭A・B

●所在地／平岡 ●所有者／個人

今から 1,200 万年前から数万年間、中央構造線に沿った地殻の弱い地帯に火山活動が断続的に起こった。この露頭は、その時代に出来た地層の一部で、中央構造線の弱部（りょくしよくへんがん 緑色片岩層）へあんざんがん 安山岩が貫入した断層が 2 か所にはっきりと現われている。

A 露頭は、右の低い所が緑色片岩層で、左の方に節理のある岩が突き立っている。これが噴出した安山岩で、北西のぶりょう 武領ではいずみさがん 和泉砂岩になっている。

B 露頭は、右の方が黄褐色の和泉砂岩層で、次の黒色の部分（幅 8 m）が和泉砂岩層の破碎層、次に噴出した安山岩の層が見える。



露頭 A



露頭 B